

広島市植物公園

見どころ案内

今年のさくらまつり・春の夜間開園は中止となりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、フクシア温室、展示温室、サボテン温室、展示資料館、休憩展望塔の公開を中止しています。また、実演会など全ての行事を中止しています。森のレストラン、森のカフェ、花売店は営業しています。

バニラ (ラン科)

つる性のランです。花は夜～午前中に咲き、一日花です。うす緑色のランらしい形の花が咲いています。花や葉に香りはありませんが、熟したサヤを発酵させるとバニラ特有の香りが生じます。

クリサンセマム

ヤマトレンギョウ

タンチョウソウ

ヒスイカズラ

(マメ科)

フィリピン原産のつる植物です。ヒスイ色の花をつけた房が多数下がって、目線の高さで咲いています。

エウロフィエラ

ロエンプレリアナ (ラン科)

マダガスカル原産の大型着生ランです。

オオハウカンボク

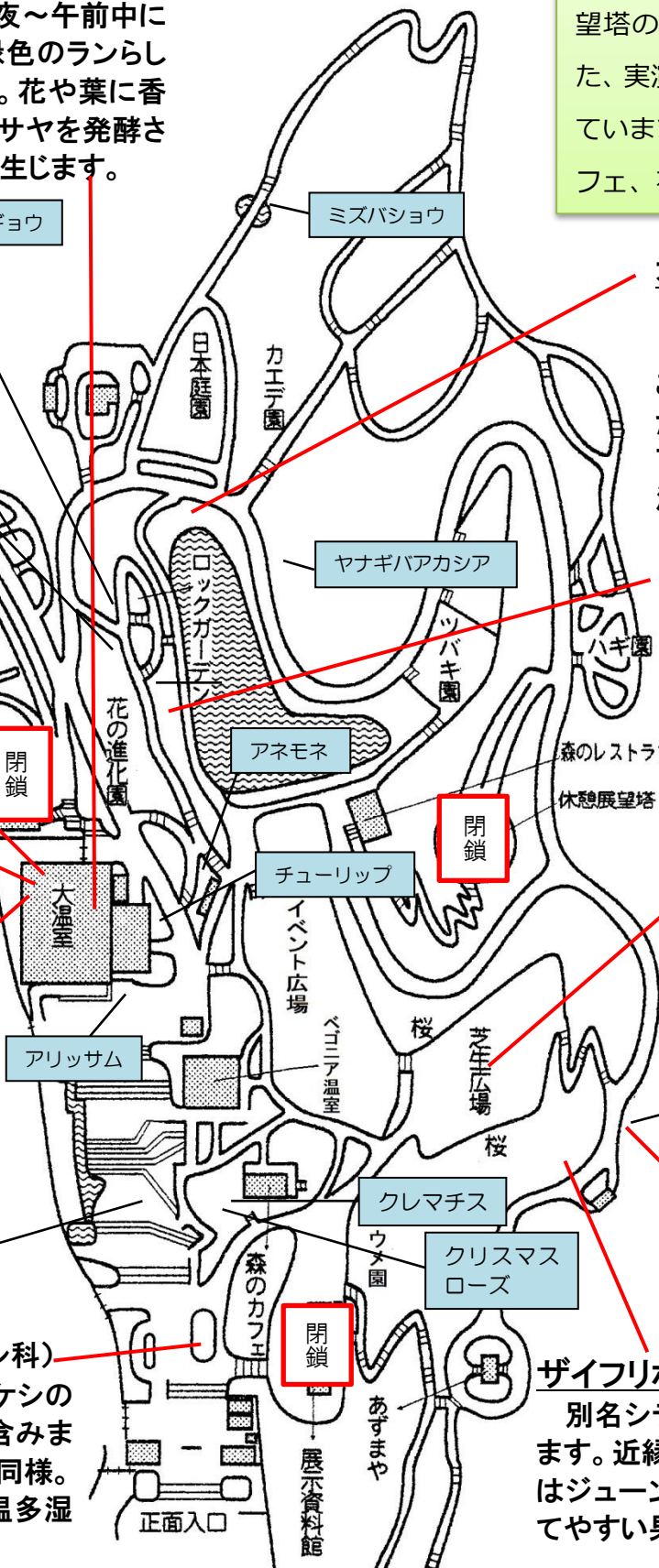
(マメ科)

ベネズエラ原産の熱帯花木で、大きな宝冠のような花を咲かせることからこの名があります。

ムラサキハナナ

アイスランドポピー (ケシ科)

和名はシベリアヒナゲシ。ケシの仲間ですが、アヘン成分を含みません。ヒナゲシやオニゲシも同様。現地では越年しますが、高温多湿を嫌うので、1年草扱いです。



オキナグサ

(キンポウゲ科)

種に白く長い綿毛をつけることからこの名がつけました。フェルトのような感触の可憐な赤い花がうつむいて沢山咲いています。

ツツジ・シャクナゲの仲間

(ツツジ科)

大輪のピンク色の花を咲かせるクロフネツツジ、赤い花を株一面に咲かせているシャクナゲ‘太陽’など、多くの種類が見頃です。

サクラのなかま (バラ科)

ソメイヨシノが満開です。芝生広場奥の階段を上がったところでは、八重紅枝垂れが咲き始めました。

ムスカリ

ハナニラ (ネギ科)

南米原産の球根植物。一度植えるとよく増え、手がかからない植物。触るとニラのようなネギ臭がします。

ザイフリボク (バラ科)

別名シデザクラ。白い花が咲いています。近縁のアメリカザイフリボクの実にはジュンベリーと呼ばれ、家庭で育てやすい果樹として人気があります。